

平成三十年五月二十八日提出  
質問第三二二二号

加計学園問題にかかわる愛媛県提出文書に関する質問主意書

提出者 奥野総一郎

## 加計学園問題にかかわる愛媛県提出文書に関する質問主意書

いわゆる加計学園問題にかかわり、愛媛県は参議院予算委員会の要請に基づき、五月二十一日に回答文書を提出した。この内容は、昨年来安倍総理や柳瀬元総理秘書官などによるこれまでの政府の説明を覆し、安倍総理への疑念を一層深める内容と受け止めている。

そこで、以下質問する。

一 回答文書によると、四月二日に、柳瀬秘書官と面談した際、政府関係者が同席し、発言もしている。この政府側出席者や政府関係者が作成したメモや文書は政府に存在しないのか。

二 回答文書にある二月二十五日の安倍総理と加計理事長との面談のやり取りのメモ、文書等、記録は政府内に本当に存在しないのか。

三 この面談では、安倍総理から「「そういう新しい獣医大学の考えはいいね。」とのコメントあり。また、柳瀬首相秘書官から、改めて資料を提出するよう指示があった」とされているが、これは事実か。また、この部分に関するやり取りのメモ、文書等、記録は政府に存在しないのか。

四 回答文書では「安倍総理と加計学園理事長が先日会食した際に、獣医師養成系大学の設置について地元

の動きが鈍いとの話が出た」 「加計学園から、先日安倍総理と同学園理事長が会食した際に、下村文科大臣が加計学園は課題への回答もなくけしからんといっているとの発言があった」との記載もあるが、このやり取りのメモ、文書等、記録は政府に存在しないのか。

五 回答文書では、「官邸への働きかけを進めるため、二月中旬に加藤内閣官房副長官（衆・岡山五区、当選四回）との面談を予定している」と書かれ、加藤氏（現厚生労働大臣）も記者団の取材にこれを認めていると承知している。このやり取りのメモ、文書等、記録は政府に存在しないのか。

六 前述質問一〜五に関連する文書が存在する場合は、その内容を示されるとともに、速やかに公表された  
い。

右質問する。